



校長通信

令和4年度21号 令和4年11月17日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《校内持久走大会を実施しました》

11月15日（火）秋晴れの最高のコンディションのもと、市民スポーツ広場において校内持久走大会を実施しました。

体調を悪くして、途中で棄権する生徒がいましたが、ほぼ全員、自分の力を出し切って、ゴールまで走り抜けていました。持久走は、得意な人も、得意でない人も、精一杯走ると、とてもしんどいスポーツですが、それを乗り越えてゴールした時の達成感、気分は最高です。

その経験は、持久走だけでなく、様々な困難にも乗り越えようとするチャレンジ精神につながっていくのだと思います。

大きな事故やケガもなく、無事大会を行うことができ、本当によかったと思います。



《河北地区子どもを育てる協議会「おはよう」の挨拶活動実施》

河北地区子どもを育てる協議会という団体があります。事務局は、河北中学校にあり、河北中学校の校長、育友会長が、この会の副会長を務めています。湊地区の連合自治会長さんと、野崎地区の連合自治会長さんが隔年で交互に会長を務めます。目的は、河北中学校区内に在住する保育園・幼稚園・小中学校の幼児・児童生徒の健全育成と福祉の向上、そして保護者への啓発です。

この協議会が主催となって、11月2日（水）野崎西小学校校門、4日（金）湊小学校校門、7日（月）福島小学校校門、8日（火）野崎小学校校門、15日（火）河北中学校校門で、挨拶活動を実施していただきました。

私は、出張の関係で、野崎西小学校の挨拶運動には参加できませんでしたが、それ以外の小学校と、本校の挨拶活動には参加しました。どの小学校の児童も元気に挨拶をしてくれました。河北中学校では、生活指導部の方々を中心に育友会役員の方々も参加していただき、生徒に温かく声をかけていただきました。

朝から、元気に挨拶をかわすと、気持ちがあがり、すばらしい一日のスタートが切れると思います。河北地区子どもを育てる協議会のみなさん、育友会のみなさん、ありがとうございました。

《河北地区子どもを育てる協議会主催の教育講演会に参加しませんか》

12月2日（金）教育講演会があります。講師は、「いのちの講演家」岩崎順子さんです。岩崎さんは、全国各地の県民講座や市民講座、小中学生～大学生、保護者を対象に講演をし、活躍されています。

岩崎さんは、3人の幼い子どもを育てる中で、ご主人をガンでなくされた体験を、「ガンが病気じゃなくなったとき」という本に記されました。その本が話題となり、講演活動をされるきっかけとなりました。以来、命や人権、親子関係、災害など、様々なテーマで講演されています。今回は、「つらかった時間は、いつか宝の時間になる」という演題でお話いただきます。お時間ある方は、ぜひ参加してみてください。時間等詳細は、11月8日、お子さんを通して案内文を配布済ですので、ご確認ください。

ちなみに、ご主人が亡くなった時に幼かったお子さんたちですが、長男と次男は私の教え子です。長男は、和歌山市の小学校教員、次男は和歌山市で接骨院の院長として、がんばっています。